

## ① 行政サービスにおけるホームページの見やすさと利便性の改善について

町民が日常的に利用する行政サービスにおける、ホームページの見やすさと利便性の改善について質問いたします。

私の住んでいるエリアでは上水道料金は長崎市、下水道料金は長与町に支払う必要がありますが、そこでたまたま両市町のホームページを比較する機会がありました。操作してみた結果、長崎市のホームページでは「上水道料金支払い」のページに短時間でアクセス可能であり、情報の位置やメニュー構成が非常に分かりやすく整理されていました。一方、長与町のホームページでは、「下水道料金支払い」に関連するページに到達するまで複数のメニューを順に辿る必要があり、初めてアクセスする方や高齢の方にとって分かりにくい印象を受けました。

この比較を通じて明らかになったことは、ホームページの情報構造やナビゲーションが町民の利便性に直結するという点です。町民が必要な情報にスムーズにアクセスできる環境は、日常生活の利便性向上のみならず、町全体のDX推進においても重要であると考えます。つきましては、以下の点についてお伺いいたします。

- (1) 現状、町民が下水道料金支払いページに到達するまでに平均何クリック必要か、また迷いやすい箇所はどこか、その調査は行われているか。
- (2) 他自治体と比較した場合、長与町ホームページの利便性や情報提供の面についてどのように評価しているか。
- (3) スマートフォンやタブレット等、多様な端末での操作性や見やすさの改善は検討しているか。
- (4) 下水道料金をはじめとする各種支払いやその関連手続きを一元的に確認・支払できる案内ページを作成する予定はあるか。
- (5) ホームページの制作および更新は町職員が行っているのか、外部業者に委託しているのか、その体制について。また、改善や改修に際して意思決定や優先順位の付け方についてもお聞かせください。

## ② 選挙事務の確認体制について

直近の衆議院議員選挙では、全国の自治体において、選挙事務に関するミスが報道されております。

例えば、熊本市では選挙人名簿に登録されていない男性に投票用紙が誤って交付され、小選挙区の票が有効票としてカウントされる事案が発生しました。盛岡市では1人の投票者に投票用紙が誤って2枚交付され、投票者数より用紙枚数が多くなる事態が発生しました。川崎市では不在者投票の一部が開票されず、後で発覚する事例がありました。

これらはいずれも選挙結果に直接影響はありませんでしたが、一票の重みや選挙の信頼性という観点から、住民の不安を招く可能性がある重大な事案であります。本町におきましても、来年町議会議員選挙を控えており、選挙の公正性と透明性を確保するため、以下の点についてお尋ねいたします。

- (1) 期日前投票および当日投票において、選挙人名簿との照合はどのように行われているのでしょうか。受付端末でエラーが表示された場合の対応マニュアルや、複数職員による確認体制は整備されているのでしょうか。
- (2) 投票用紙が重なって二重交付されることを防ぐため、本町ではどのような具体策を講じているのでしょうか。混雑時でも確認作業が徹底される体制になっているのでしょうか。また、過去に交付枚数と投票者数の不一致があったかについてもお尋ねいたします。
- (3) 不在者投票や期日前投票の管理・開票作業において、未処理票や未開封票が発生しない具体的な確認行程はどのようになっているのでしょうか。数値が一

	<p>致しない場合の再点検基準や、立会人の役割・チェック体制についてもお伺いいたします。</p>
--	--